

福井アリーナ整備・運営に関する基本計画（案）

合同会社福井アリーナプロジェクト

2024年2月6日

多目的アリーナによる『県都再生』

令和6（2024）年3月の北陸新幹線福井県延伸を見据え、福井商工会議所、福井県、福井市の3機関からなる県都にぎわい創生協議会が設立され、令和4（2022）年秋に県都グランドデザインが策定された。グランドデザインでは福井県の玄関口であるJR福井駅周辺の交流人口を拡大させ、にぎわいを醸成するための各施策が強く打ち出され、アリーナ構想はその中核をなす施設として位置づけられている。

建設候補地の福井市東公園はJR福井駅から極めて近く、スポーツだけにとどまらず、コンサートやMICEなど、アリーナを核として県内外から多くの人々が福井駅周辺に集まることで、県都のにぎわいづくりと地域経済の活性化が期待される。

このアリーナをホームアリーナと想定するプロバスケットボールクラブ『福井ブローウィンズ』が立ち上がり、現在B3リーグで躍進している。このように県都の再生に向けたアリーナ構想を実現するため、官民が一体となった取り組みを進めているところである。

地方創生を牽引する、 まちに開かれまちとつながる地域交流拠点

「歩きたくなる」まちとして地域を盛り上げる、
まちに開いた365日県民・市民でにぎわう、自然と立ち寄りたくなるアリーナ

- ・プロスポーツやコンサートをはじめとした様々なイベントの開催を通じて、立地を活かした集客を図ることで、まちなかににぎわいを創出する。
- ・公園に面して、エントランスホールやサブアリーナ、ショップ等を整備し、日常的に開かれた施設とすることで、多様な人々、多世代の人々の地域交流拠点とする。



2. デザインコンセプト

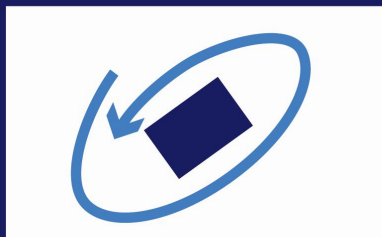
まち全体に広がるにぎわいの風を、アリーナから巻き起こす

福井ブローウィンズの新たなホームアリーナ
クラブの“世界観”を体現するアリーナデザイン

BWVS
FUKUI BLOWINDS

◇クラブキャッチフレーズ
福井に吹く（BLOW）＋ 風（WIND）
吹く、いい風

◇クラブスローガン
ともに巻き起こそう、とてつもない旋風を。



CONCEPT
DIAGRAM

アリーナを中心に風をおこす

ふくい旋風
whirlwind of Fukui

- 01 市民を巻き込む、みんなで盛り上げる、共に創りあげる
- 02 B1リーグに巻き起こす、新たな旋風
- 03 福井市内に吹き込む、スポーツという“新たな風”



ARENA
DESIGN

アリーナを風のように取り囲む、
“ウインドウォール”と“グリーンウォーク”

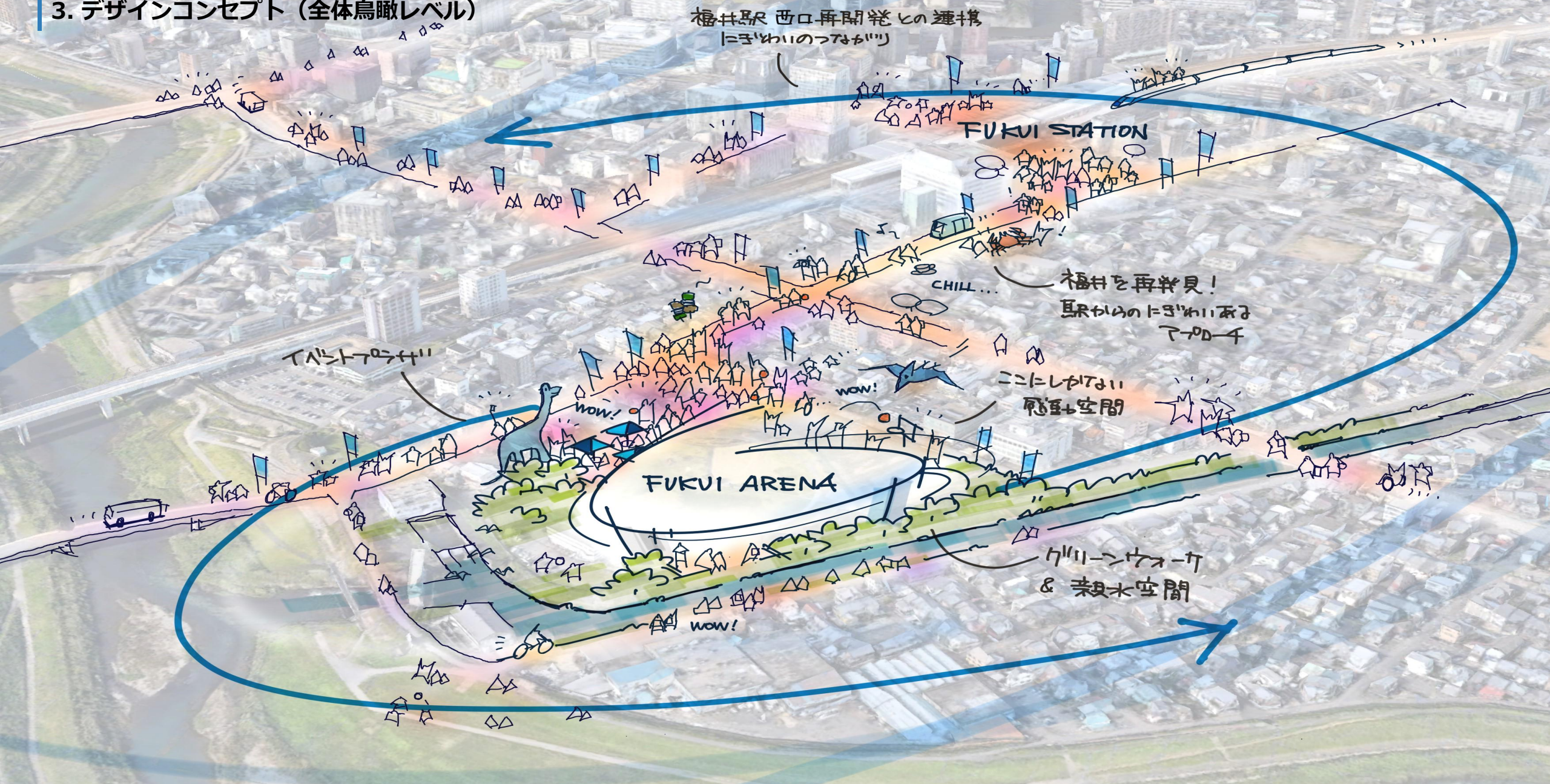
- 01 広場に大きく開いた、メインアリーナとサブアリーナ
- 02 雪と騒音に配慮した、旋風を体現する“ウインドウォール”
- 03 周囲を取り囲む、緑豊かな外部空間“グリーンウォーク”



EFFECTS
ON CITIES

県都に巻き起こす、“ふくい旋風”
まち全体に広がる賑わいの発信！！

3. デザインコンセプト (全体鳥瞰レベル)

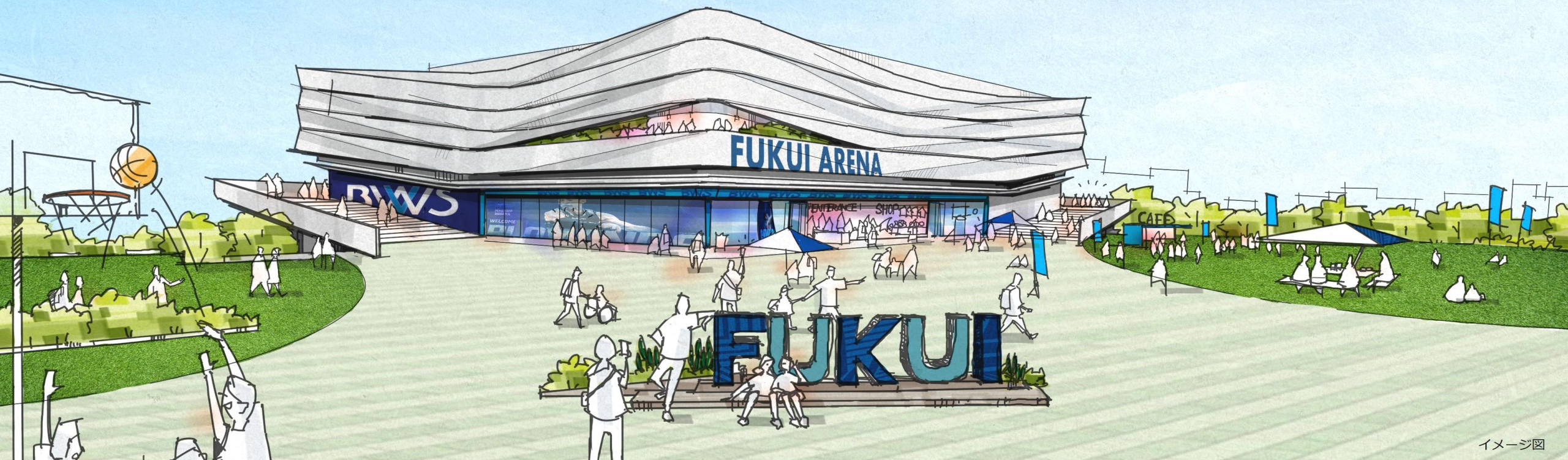


4. 整備イメージ

◇デザインコード

福井フローウィングスの世界観を表現するファサードデザイン
アリーナを風のように取り囲む、“ウインドウォール”

- ・アリーナを中心に風のように取り囲むウインドウォールは、市民を建物内に引き込む、風のように軽やかで印象的なデザインとする。
- ・ウインドウォールはアリーナからの騒音の低減や室外機等の目隠しになることでの景観配慮など、機能的なデザインとなる。
- ・エントランスやラウンジまわりのウインドウォールは積雪に配慮し、外壁から大きく張り出し床を設けることで、庇として機能する。



イメージ図

5. 整備目的、整備・運営方針

【整備目的】

北陸新幹線開業後のさらなる交流人口の拡大と、 地域経済の持続可能な発展につなげる

【整備・運営方針】

にぎわいの創出

2023-2024年シーズンからB3リーグに参入したプロバスケットボールクラブ『福井ブローウィングス』のホームアリーナを想定。メインアリーナは新B1（B.LEAGUE PREMIER）基準を満たすよう計画。プロスポーツの試合時は最大5,000席程度、コンサート等は需要を鑑み、最大4,500席程度を設け、様々な興行が開催できるアリーナを中心ににぎわいを創出する。

多世代交流の促進

プロスポーツだけでなく、ライブやコンサート、セミナーやコンベンション、展示会、地域イベントといったMICE等の開催により、県内外の多世代が集い、交流できる県都にふさわしい施設をつくる。

防災機能の強化

災害時における一時避難施設や物資搬出入の広域拠点としての役割を担うことで、行政、地域と連携しながら地域の防災機能の強化を図る。

地域共生の推進

周辺の良い住環境の維持・保全に最大限配慮し、地域共生のモデルとなるアリーナ運営を行う。

コスト意識の徹底

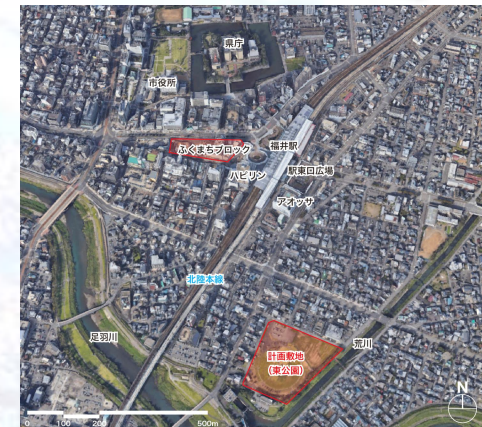
アリーナの設備機能、および各スペースは最低限の機能で計画し、延床面積の最小化を図る。構造的にも維持管理においても最も合理的かつローコストな計画とする。

6. 整備概要（暫定）

名称	福井アリーナ
計画地	福井市東公園内
所在地	福井県福井市豊島2丁目5
延床面積	約12,000㎡
建築面積	約8,700㎡
施設規模	メインアリーナ、サブアリーナ、その他附属諸室
構造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
付帯設備	大型映像装置、吊物機構設備、メインアリーナ音響設備、 演出照明装置、リボンビジョン設備
席数	スポーツモード：5,000席、コンサートモード：4,500席

利用想定

- ◇スポーツ
バスケットボール（Bリーグ）、バレーボール、
フットサル、ハンドボール、ダンス、eスポーツ等
- ◇ライブ、コンサート
- ◇MICE
セミナー、コンベンション、展示会、地域イベント等



7. 導入機能

競技機能

メインアリーナ、サブアリーナ、更衣室、倉庫等

※参考（メインアリーナ）：バスケットボール2面、バレーボール3面、バドミントン12面

参考（サブアリーナ）：バスケットボール1面、バレーボール1面、バドミントン4面

観客機能

スポーツモード（5,000席）、コンサートモード（4,500席）、
トイレ、飲食物等の販売スペース、授乳室、エントランスホール、コンコース 等

※トイレ機器数：客席数×5%（新Bリーグ要綱に準拠）

VIP機能

VIP室、ラウンジ

※各種レギュレーションに対応する諸室

運営機能

運営室、控室、医務室等

※各種レギュレーションに対応する諸室

メディア機能

記者会見室、メディアルーム等

※各種レギュレーションに対応する諸室

施設管理機能

管理室、機械室等

その他機能

共用部（通路・階段等）

8. 整備・運営スキーム（案）

民間主体の整備・運営＋行政支援

経済界：民間の主体的な整備、運営（民間資金、ノウハウの活用）により、駅周辺のにぎわいづくりとしてアリーナの整備、運営を先導。

福井県：県民のプロスポーツやコンサート等の観戦機会、地域スポーツやイベント等への参加機会を創出。

福井市：土地の貸付、地元調整、都市計画の変更など、民間が整備、運営しやすい環境を確保、提供。

アリーナ整備会社：コスト効率性を徹底しつつ、長く使いやすい、使われやすいことを前提に、多世代交流が図られる多目的なアリーナを整備。

アリーナ運営会社：プロスポーツやライブ、コンサート等、熱狂できるコンテンツや空間を提供。



9. 配置・平面計画

配置計画上の配慮

- 1 歩行者動線と車両動線を明確に分離した、安全な動線計画
- 2 周辺住宅地からの距離を確保したアリーナ配置
- 3 住宅地への車両の出入りを抑えた、荒川沿いの駐車場配置
- 4 グラウンドゴルフなどのスポーツが可能な地域に開いた広場
- 5 地域に開いた、多目的に利用できる除雪のしやすい広場

アリーナ設計上の配慮

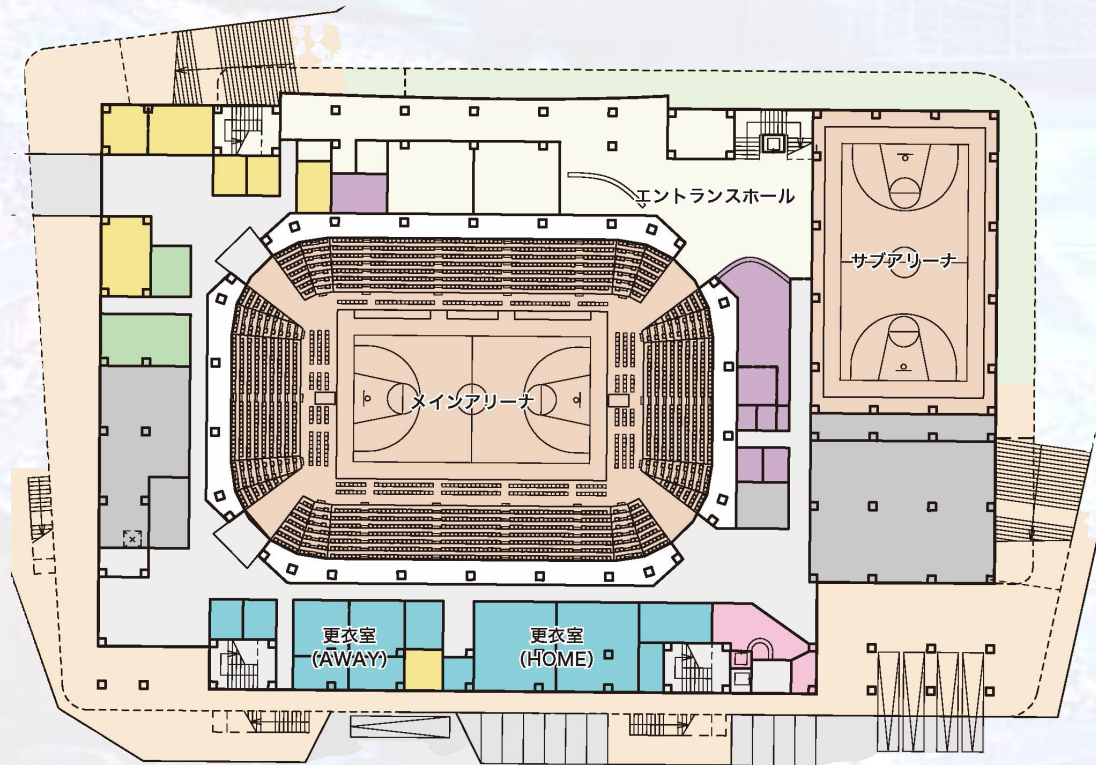
- 1 日常的に利用できる、エントランスとショップ
- 2 市民がスポーツに気軽に触れることのできる、公園に面したサブアリーナ
- 3 騒音・振動に最大限配慮した、荒川沿いに配置したメインアリーナ
- 4 日常的に利用できる2階のデッキ空間
- 5 周囲に音が漏れにくい、鉄筋コンクリート造の外壁とウインドウォール

防災上の配慮

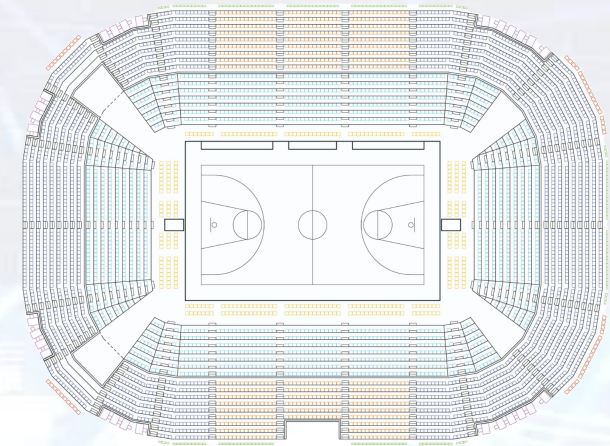
- 1 日常的に利用されることで災害時の緊急避難や習熟にむずびつく、公園と連携した、地域に開いたアリーナ
- 2 災害時における一時避難施設や物資搬出入の広域拠点としての役割を担うアリーナ
- 3 大地震時の損傷を抑えることを目標とした、耐震安全性Ⅱ類のアリーナ



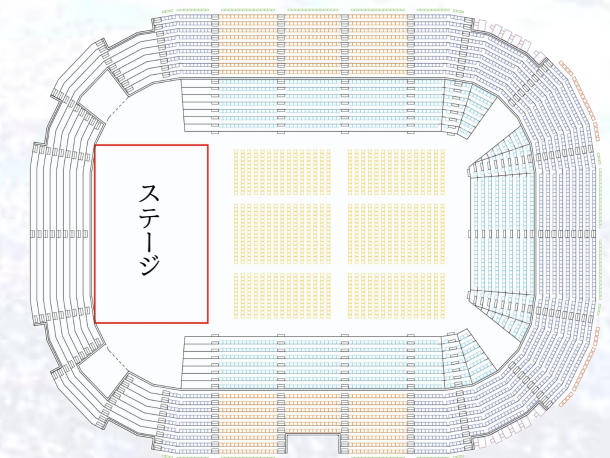
9. 配置・平面計画



▼メインアリーナ
コート囲い型座席配置（Bリーグ時）約5,000席



▼メインアリーナ
ステージ型座席配置（コンサート時）約4,500席



10. 総工費・収支計画

①概算事業費および資金調達内訳

整備事業費 105億円	
民間調達 55億円	国・県・市 補助金 最大50億円

②年間収支（キャッシュフロー）計画

項目	税込 単位：千円
収入の部 合計	690,800
メインアリーナ収入 等 （県民利用等：2億円程度） （市利用・利用促進：0.7億円程度）	559,000
その他利用料・使用料	131,800

項目	税込 単位：千円
支出の部 合計	665,224
運営・維持管理費	401,224
公租・償還・修繕積立 等	264,000
収支差額	25,576

③利用想定

用途	日数	備考
プロスポーツ	60日	30試合 + α
コンサート	110日	40公演×2日間（+ α ）
MICE	20日	
県民利用・市利用	160日	
メンテナンス	15日	設備点検等
合計	365日	

11. 経済波及効果

●年間来場者見込：**580,000**人

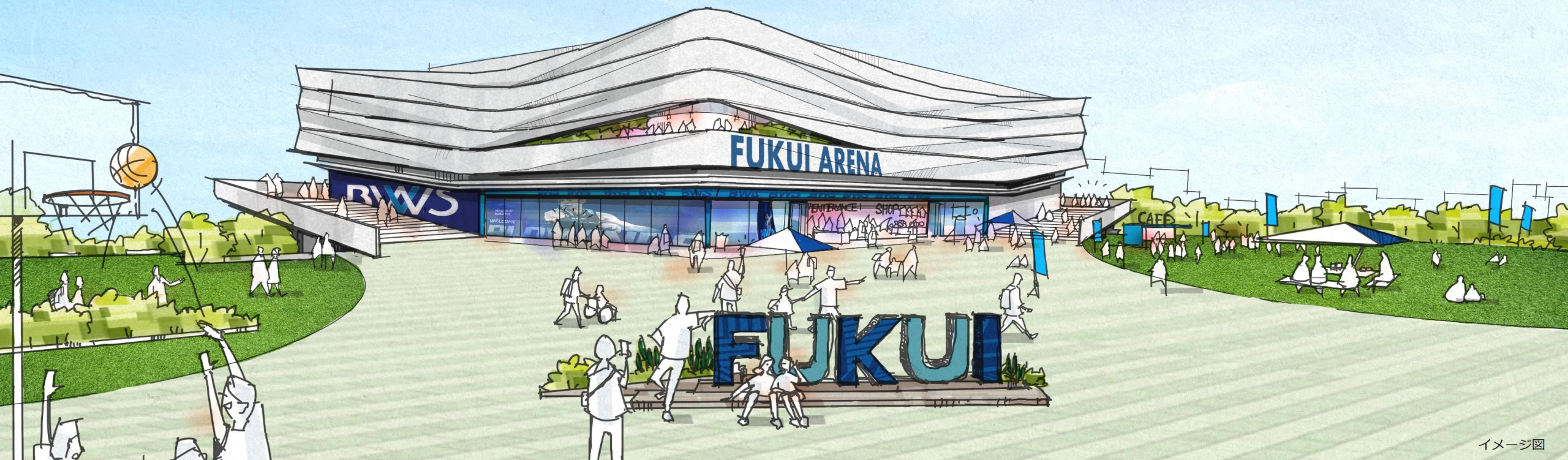
●来場者による入場料や交通、飲食・物販、
宿泊等による駅周辺・県内での消費額：年間**42**億円

●波及効果：年間**56**億円

※福井県産業連関表による試算結果

令和9（2027）年秋頃開業予定

- ・ 令和6（2024）年末頃～：実施設計
- ・ 令和7（2025）年末頃～：建設工事
- ・ 令和9（2027）年夏頃～：開業準備



イメージ図

参考資料

メインアリーナ利用想定（Bリーグ）

福井ブローウィングスは令和6（2024）年1月22日現在、27勝3敗でB3リーグの首位を快走。
開幕戦や令和5（2023）年ホーム最終戦等、複数の試合で3,000名を超える観客が集結し、
入場者数は1試合平均1,910名（昨季のB3平均は約800名）と、大きな盛り上がりを見せている。



参考資料

メインアリーナ利用想定（コンサート、MICE）

一般的な多目的アリーナで開催できるコンサートやMICE等については、同様に福井アリーナでも実現できるよう検討していく。



コンサート



産業展・企業展



学会・講演会



フードフェス



地域イベント



アマチュアスポーツ